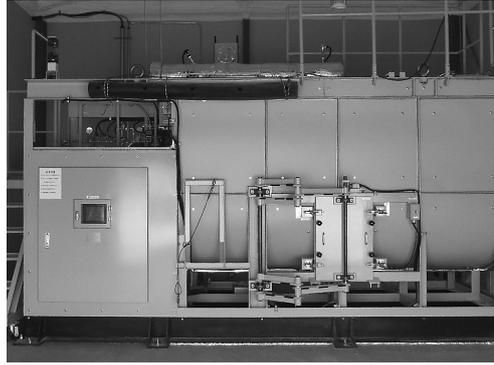


岡本 俊

〔市民連合〕

ごみリサイクル



衛生用品処理機

生成物が回収され、55%の減量を達成し、生成物の熱量は、3200キロカロリーの熱量を有し塩素分も低く問題はない。また大腸菌もなく、臭気は基準値以下であった。

今後の取り組みは、実用化に向けた運転方法等について検討を重ねる。

旧樹海東小学校・旧麓郷中学校の今後の利活用は

問 学校施設の利活用に関する取り組みと利活用についての地域の環境づくりについて。

答 旧樹海東小学校は、当面利活用予定のない普通財産として現在に至っており、今後の方針は地域活性化の具体的方策がないことから売却または貸付に向け調査している。

問 衛生用品資源化処理試験の評価と今後の取り組みは

答 試験は地元企業に委託し、同社が導入した紙おむつ資源化処理機で行い、実施期間は夏期間8回、冬期間4回の予定。試験内容は、分別状況、処理状況及び生物状況、ペレット製造及び燃料分析、滅菌状況、エネルギーの使用量、臭気分析等の調査を行っている。

夏期間の試験結果は、衛生用品4・85tを処理し2・13tの

旧麓郷中学校のグラウンドは発電施設として活用している。建物とその敷地は地域振興を目的にした要望等も考慮し、公有財産利活用検討委員会を通じ利活用を検討する。利活用に関し地域振興を目的とする要望があれば、調査、研究などの支援や利活用の環境づくりを行う。

大栗 民江

〔公明党〕

ふるさと納税促進の取り組み

問 ふるさと納税は、寄付先を自由に選択できる特徴があるのに、工夫ができる。5年を経過し事業展開を変える考えは。

答 制度導入以来、「一般寄付とする」「特典は行わない」「使途は基金で対応」で進めている。

問 一定額以上の市外寄付者には、感謝の気持ちを送られているが、更なる情報発信PRは。

答 農村観光都市、移住定住対策等のPRを充実し、本市への理解を深めていただく。

子育てにおける屋内外での遊びの場の整備は

問 少子化と過疎化の進展が予想される中で、若い世代の人達に帰ってきてもらう、移り住んでいただくには、子育て支援策は力を注ぐべきと考えるが。

答 子どもたちの笑顔や歓声が溢れ安全にのびのびとした遊びができる環境は、健全な心身の

発達を促し親子の絆を強めるとともに、親同士の情報交換や交流の場として大変有効と認識。

問 市街地での遊具は整いつつあるが、農村部への整備は。

答 各へき地保育所園庭を利用していただきたい。

問 スポーツセンターにおける子育て支援事業の拡充の考えは。

答 保護者同士が自主的・主体的な集まりの中で、児童館やサブアリーナ等の活用を図っていただきたい。

問 全天候型遊技場の設置は。

答 つどいの広場は、更に検討が必要。全天候型遊技場は、屋内での子ども遊び場としての機能を勘案しながら総合的に検討していきたい。



スポーツセンターでの「ふれあい合同広場」